

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議名称 富士川町総合教育会議
- 2 会議日時 令和4年2月8日(火) 10時00分～11時10分
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数
  - (1) 主宰者側 4名 望月町長、早川政策秘書課長、政策秘書課 秘書担当リーダー 松住、秘書担当 大森
  - (2) 教育委員会 10名 野中教育長、大森教育長職務代理者、秋山教育委員、中村教育委員、望月教育委員、中込教育総務課長、依田生涯学習課長、齋藤中学校統合準備室長、依田生涯学習課長補佐、総務学校担当リーダー 志村、中学校統合準備室担当 依田
  - (3) 傍聴者 なし
- 5 発言の内容(進行：政策秘書課長)

○町長あいさつ

教育委員の皆様には、日頃から富士川町教育行政の推進のため、格別のご尽力を賜り感謝申し上げます。

総合教育会議ですが、平成27年度に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、首長と教育長、教育委員の皆様を構成員とし、開催していくこととされました。

町長部局と教育委員会が十分な意思の疎通を図り、本町の教育に係る課題や、あるべき姿を共有し、連携して町の教育行政に取り組むことが、この会議の目的であります。

「中学校統合」に関しましては、令和2年8月に、この総合教育会議において方針を共有した上で、教育委員の皆様をはじめとする関係各位のご尽力のもと、協議を進めていただきましたことに、重ねて感謝申し上げます。

本日の総合教育会議は、統合の方向性について、これまで皆様が積み重ねてこられた協議内容を十分に尊重しながら、さらに連携を深め、協議することを目的に開催させていただいた次第であります。

教育委員の皆様には、忌憚のない御意見をいただきますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

○協議事項（座長：野中教育長）

【教育長】

本日の総合教育会議は、中学校統合についてが議題であります。

これまで、統合について、長い経過の中で進めているところですが、1月16日に町長が就任されましたので、町長の意向を聞きながら、意見交換をさせていただきたいということでもあります。

本来ですと、この総合教育会議は町長が主催者でありますので、座長は町長に務めていただくところですが、本日は町長の意向をお話いただきますので、座長はわたくしが務めさせていただきます。よろしくお願いします。

(1) 中学校統合の方向性について

・これまでの経過

【教育総務課長】

資料「新たな中学校の開校に向けたこれまでの経過」を説明

【教育長】

平成30年9月の総合教育会議において、今後の小中学校の教育のあり方について議論をしていく必要があるということから始まり、令和2年1月までの間に、「あり方検討会」、「あり方懇話会」、パブリックコメント等を行いながら、教育委員会が、「第2次学校規模適正化基本方針」を策定しました。

この「第2次学校規模適正化基本方針」では、中学校のことだけでなく、小学校のこと、教育制度のことも十分検討する中で、中学校については、「新たな中学校」として設置することが望ましいということになりました。

この検討の中では、いつ統合する、どこへ統合するということは除いて、今の教育のあり方はどうなのかという観点から議論を進めてきたところでもあります。

この基本方針を町長に報告し、学校設置者として、この統合について検討を進め、現在、令和5年4月の開校に向けて、準備を進めているところでもあります。

1月に町長が就任しまして、新聞等でも町長の意向が報道されております。

また、1月31日の町議会臨時会の町長の所信表明においても、この件に触れていただいていますので、これらの経過を踏まえまして、町長の考え方を説明していただければと思いますのでよろしくお願いします。

【町長】

子どもたちの教育環境を第一に考え、5年後の中学生の数を見たときに、鰐沢中学校においては、1学年10人規模になってしまうという状況があります。このようなことから、統合はやむを得ないということは理解でき

ます。

しかしながら、進め方において、保護者や子どもたちに対して、資料は配付されていたと思うのですが、説明会が、昨年の6月23日から7月2日にかけて、1回しか行われていなかったということ、そのときにはすでに、新中学校ありきということで進めていたということでもあります。

また、増穂商業高校を改修して、そこに新中学校を設置するというこの考え方はいかなものかという思いがあります。

一方では、増穂中学校については、存続できないほどの規模ではないのになぜ統合しなければならないのか、といった声も耳にします。

また、一般の方々は、子どもたちの数が減っていて、新しい教育環境を作っていかなければならないという状況を理解されていないこともあって、地域から学校が無くなったら困るといった声もあります。

これらのことを考えたときに、すべて情報公開ということが、順次されてこなかった、対話という部分がとばされてきたということではないかということです。

コロナ禍ということもありましたが、1回だけの保護者説明会でこれを進めていくのは強引すぎるのではないかと考えています。

これまで真摯に議論を重ねてきていただいた内容については、おおむね尊重しますが、方向性として、もう一度、学校現場、保護者、子どもたちの思いを聞く機会を設けていくこと、そして、これまでの議論の経過、正しい情報をしっかり出して、さらに議論を積み上げていく時間が必要ではないかと考えます。

ただ、これに時間をかけ過ぎるということもよろしくないと思いますので、新年度の前半で対話の部分を行い、10月ぐらいには、方向性を決めたいと考えています。

そのために、令和5年4月の開校は1年先送りにして、皆さんがよかつたと思えるような方向性を見出していきたいと思えます。

### 【教育長】

町長からのお話がありました。

一般住民や保護者の理解がされていないのではないかとということで、令和4年度前半に対話の機会を設け、これまで議論してきた内容を公開する中で、意見を聞きながら、令和4年度前半のうちに方向性を出していきたいということでもあります。

現在、令和5年4月開校ということで進んでいるのですが、その設定は一度延期ということになるわけでございます。

これまで、いろいろな検討を積み上げてきておりますので、委員の皆様のお御意見があればお願いします。

**【町長】**

この議論を現場に戻すということの中で、一番重要なことは正しい情報、これまで積み上げてきた情報、一番大事なことは、子どもたちが少なくなつて、学校が存続できない状況にすぐになってしまうということ、そういった前提条件、正しい情報をしっかりと出して、アンケート、もしくは対話をしていかないと、雰囲気だけの話、感情的な意見が多数出てきてしまう恐れもありますので、正しい情報をしっかりと出しながら、現場に戻すということが重要です。

わたしのところに入ってきている情報の中で、やはり古い校舎を改修して、10年経ったらもう一回建て直すということは、財政的にも厳しいのではないかとあります。

教育環境ということもありますが、町の財政として負担はどうか、そういった部分の情報もしっかり出しながら、皆さんと議論を進めていければと思います。

**【教育長】**

議論の幅が大きくなってしまうので、大きく分けて考えますと、先ほどの経緯の中で、令和2年1月に「第2次富士川町学校規模適正化基本方針」を教育委員会が策定し、その方針で、中学校を統合するということが、また、新たな中学校を設置するということが望ましいということが、教育委員会が出した基本方針でありますので、先ほど、町長のお話で、生徒規模を考えると統合についてはやむを得ないということがありましたので、まず、基本方針について、改めて検討する必要があるか、議論をしたいと思えます。

**【町長】**

例えばですが、そのまま存続ということもありますし、小中一貫にして、鰯沢小学校の借地の部分を解消するために、鰯沢中学校の校舎に鰯沢小学校、鰯沢中学校が入り、一方で増穂中学校は残すということもあります。

もう一つの考え方として、中学校を統合し、鰯沢の子どもたちが増穂中学校に入ってもらって、これを新設中学校とするということもあります。

さらに、もう一つの考え方として、増穂商業高校跡地に計画どおりに新たな中学校を設置するということがあります。

これについても、様々な意見をいただきながら、最終的に判断をしていく時間が必要だと思います。

ですから、統合ということも、現状どおり存続するということも可能性として残しながら、子どもたちの教育環境をなんとかしていかなければならないということを第一に考えながら、もう一度進めていきたいと思えます。

**【教育委員】**

町長のお考えはたいへんよくわかりました。町民の考えを聞く方法をどういう形にするのかということがすごく大事だと思います。

今までも、町では、いろいろな場面で、町民の皆さんのお声を聞いて、広報に載せたりしてきました。

その上で、こういう結果になってきたわけですが、今度、もし町長がおっしゃるような案をいくつも出して話し合いを進めていくとすると、かなり我々のほうで練って皆さんにお示ししないと、それぞれの意見が多く出され、まとまらないということになってしまうと思います。

**【町長】**

わたしの考えとしては、まずは前提条件として、子どもたちの数が減って教育環境が維持できなくなってしまう、このことについてどうかということを知る、その上で、次は統合についてどうなのかということ、このように、ある程度段階的に、積み上げた形的意思疎通を何回か重ねていって、学校現場や保護者、子どもたちのレベルでも、議論が積み上がっていくということを認識していただければと考えています。

コロナが収まれば、意見を聞く場を設けたいし、アンケートも、具体的にどういう手法がいいのか、すぐに取りかからなければならないと思います。

**【教育委員】**

アンケートは、聞き方にもよると思いますし、保護者だけでなく、町民の皆さんにもお声を聞くということでしょうか。

**【町長】**

まずは、学校現場や保護者のアンケートを行い、町民の皆さんには、こういう結果になりました、という報告をするという形がいいのか、御意見をいただきながら進めたいと思います。

ただ、町民全体ということになると、雰囲気とかイメージの部分で、中学校がなくなったら困るなどといったことが入ってきてしまい、子どもたちの教育環境からかけ離れたところが出てきてしまうということもあります。

まずは、子どもたちの教育環境を良くするというを前提に話を進めていきたいと思います。

**【教育委員】**

これまでも、10年あまりの間に、中部小学校、西小学校が、児童が少なくなってしまうと、結果的には閉校し、他の学校に統合をしました。

そのときにも、地元の人や保護者との話し合いを重ねて、教育委員会、また議会委員会の中で、議論を進めていきました。

我々、教育委員会では、地域の実情とか、新しい校舎を作るといったお金のかかることについては言及できませんが、あくまでも子どもたちがどういう教育環境で学んだらいいのかということのを頭に入れながら、常に子どもたち中心の考え方をしてきました。

中部小学校のときも、西小学校のときも反対はありました。

それを粘り強く、子どもたちの教育を、また、子どもたちの人間形成をしていくには、必要なことだということのを提案しながら、何回も話し合いを重ねました。

話し合いが感情的になってしまうということもありましたが、あくまでも教育委員会は、子どもたちの教育、人間教育、学校教育、そこを確保しながら議論していかなければならないということのをやってきました。

閉校という2度の経験を踏まえて、また、鯉沢中学校の数年先の生徒数を見据えて、このままでいいのだろうかという部分から、教育委員会での論議が始まったわけです。

ただ、わたしたちもこんなに早く生徒数が減っていくのかということがありまして、毎年4月には学校訪問があり、行く度に思うことがあります。

保育園も一緒に通っていた子どもたちが、中学校3年生まで同じ顔ぶれであるということ、これは、絆が深まっていくということもありますが、中には、いじめとかいろいろな問題も出てくるということもあります。

いじめがあったときに、別のクラスに移すという対応ができないなど、弊害も出てきますので、少なくともクラス替えができるくらいの人数がいた方がいいのではないかと思います。

このように、新しい中学校開校に向けては、当然、町や議会の考え方もあるわけですが、教育委員会は子どもたちの過ごしやすい環境ということのを、論議してきたわけです。

先ほどの町長の話の中で驚いたのは、鯉沢の場合は、子どもたちの数が減っているということは、保護者も町民もわかっていると思うので、比較的受け入れやすい部分はあると思いますが、増穂中学校の保護者は、減っているという意識がないから、なぜ統合しなければならないのかという意識を持つ保護者がいるということなのです。

いわゆるパーセプションギャップ、認識の相違があるわけです。

そのパーセプションギャップを解消して共通の認識を持つためには、もしかしたら、令和5年4月の開校というのは早すぎるかもしれないと思います。

増穂中学校のPTAの意識と鯉沢中学校のPTAの意識の違いということのを、われわれはそこまで考えずに、これはいいことだという認識で、令和5年4月開校ということのを進めてきました。

教育委員会の中でも、早すぎるのではないかと、新しい中学校になるのであれば新しい校舎を整備してからのほうがいいのではないかと意見もありましたが、結果としてこういう結論になったわけですが、増穂中学

校の保護者と鯉沢中学校の保護者が共通の認識を持てるようになるには、話し合いをしていかなければならないと感じました。

そういう意味で、町長がおっしゃった10月までに方向性を出したいということは理解できますし、無理に10月でなくても、まずは保護者の共通の認識を持つことが大切であり、パーセプションギャップの解消ということを含めてやっていくには、時間が必要だと思います。

#### 【町長】

クラス替えができないということは、わたしも懸念してしまして、例えば、増穂中学校、鯉沢中学校の垣根を無くして、自分の選択で、増穂地区から鯉沢中学校に来てもいいし、鯉沢地区から増穂中学校に来てもいいという形で、地域内統合という形も選択肢の一つにあると思います。

共通認識ということではありますが、増穂中学校も、このままずっと大丈夫といった数ではないと思いますので、そういった共通認識を、正しい情報をしっかり出すことが大事だと思います。

校舎については、やはり教育コンセプトに合ったものを作らなければならないと考えています。箱が空いているからそこに入れるというのは乱暴すぎるのではないかと個人的には思います。財政的なことなど様々なことがあります。別の事業を止めてでも教育コンセプトにあった新しい校舎を作って子どもたちを通わせるということが、わたし個人的にはいいのではないかと考えています。

#### 【教育委員】

これまで、改修してそこに新しい中学校を、ということで計画が進んできたわけですが、統合するのであれば新しい校舎、新しい環境の中で新しい生活が始まる、そういう形ができれば理想だとは思っていました。

町長がおっしゃるように、環境が当然大事だということですよ。

高等学校でも統廃合して新しい学校になるとときには、必ず新しい校舎で、新しい環境でスタートしています。

近隣では、身延中学校が新しく開校しましたが、新しい校舎を建てています。

そういうことを考えますと、統合して新しい中学校が開校するのであれば新しい校舎でスタートさせてあげたいという思いはあります。

当然お金のかかることでもありますので、財政としてはたいへんだと思いますが、新しい校舎が理想だと思います。

他の委員のお話でもありましたが、増穂中学校の保護者の方の統合に関する認識がされていないこともあり、説明会の中でも統合するのであれば鯉沢中学校が増穂中学校の校舎に来ればいいのかという意見をおっしゃった保護者の方もいました。

統廃合して新しい形を作っていくのであれば、どちらかに吸収されると

いう形ではなくて、どこか別の地に新しい建物があって、そこにみんな入っていくという形のほうがいいのではないかと考えます。

地域から学校が無くなれば地域としてはさみしい思いになります。

ただ、子どもたちの学習環境を考えると、大きい集団の中でしっかり学んでいくことが理想だと思います。

そういう点では、鰯沢中学校の今の状態を考えると統合という形をとったほうがいいと考えます。

#### 【町長】

旧町の意識ということも残っていますし、誇りもそれぞれ持っています。

そういう中で、鰯沢中学校の子どもたちが増穂中学校に行くということに理解をいただけるのかということを考えてときに、かなりハードルが高いのではないかと思います。

吸収されるのではなく、ということは大事な視点なのではないかと思えます。

統合は必要なことですし、新しい校舎というのもわたしも必要だと考えていますが、時間、時期的なこととか、様々なインフラ整備の状況ということも考えながら、進めていきたいと考えています。

#### 【教育委員】

個人的には、この話が出たときに、存続させたいという気持ちもあったのですが、いろいろなデータを見たり、話を聞くと厳しいのかなと思います。

懇話会や説明会に出た中では、意見は本当に十人十色で、いろいろな意見があります。

他の委員がおっしゃったように、増穂中学校の保護者の方の中には、鰯沢中学校が増穂中学校に来ればよいという意見もあります。

また、町長がおっしゃったように、鰯沢中学校に近い増穂地区の生徒は、鰯沢中学校に来れば人数が増えるのではないかといった意見もあります。

いろんな意見がある中で、意見集約をどのようにしていくのかが非常に難しいのではないかということ、説明会や懇話会に出る中で感じました。

全員がこれでいいよということは、出てこないのではないかとということも感じました。

通学の問題や校舎の問題もありまして、増穂商業高校は古いということで良くないという意見もけっこう多くありました。

わたしも個人的には新しい校舎へ入れてあげられればよいなということ、は思っていたわけですが、いろいろな状況の中でそれもできないということ、やむを得ないのかなと感じています。

皆さんが納得する形でいろいろな意見を聞くということですが、意見集約がうまくできるのかということです。



皆さんが納得するということはたぶん不可能ではないかと思えます。

町長がおっしゃるようないろいろな方法があると思いますが、みんながみんな、それぞれの意見になってしまうということが懸念されますので、ある程度道筋を出していくということも必要かと思えます。

全部の方法を出して、この中でどれがいいですか、と聞いてもみんなそれぞれになってしまうって意見集約ができなくなってしまう、ある程度道筋を示してあげないと迷ってしまったり、わからないということも出てきてしまうと思えます。

今までの説明会や懇話会を見てきた中では、ある程度道筋を立ててそれに対して議論をするということがいいのではないかと思えます。

### 【町長】

当然、全員の声を聞き続ければ、一つの方向にはいかないと思えます。

でも、これまでの進め方を見たときに、全く聞く部分がなくして、決断力だけが先行していたように感じます。

ですから、最終的には、この方向でお願いします、ということを出していくわけですが、それまでの過程の中で方向性を一つ一つ聞きながら、それに対して、こういう形だから理解してほしいということをお答えできるようなものを持ちながら、最終的には決めていくつもりでいます。

これまでの議論の中で足りなかった部分を、少し時間がかかりますが、もう一度皆さんで方向性を共有しながら進めていきたいと思えます。

その中で、ある程度の道筋を示すということも、すごく大事なことで、聞き方ということも大事なので、しっかり検討してプランを立てていきたいと思えます。

### 【教育委員】

今まで皆さんがおっしゃったとおりで、子どもたちの教育環境を良くしてあげるということをわたしたちは一番に考えて話し合いを進めていくということが大事だと思えます。

### 【教育長】

現時点で増穂中学校は、300人を超えているのですが、令和6年には300人を切り、今4クラス、3クラスあるところが、2クラスになるというような状況になってくるということで、だんだんマンモス校ではなくなっているという現状があります。

当然、そういった生徒数のデータも出していきながら、やっていかなければならないと思えます。

「第2次学校規模適正化基本方針」を策定するまでの過程で、いろいろな方に検討していただいたり、学校の代表や保護者の代表にも来ていただいて、そこから、各PTAの皆さんに基本方針がどうかということをお伝え

ていただきながら、声を挙げていただきたいということで、意見集約をしてきたつもりであります。

この基本方針を作るにあたっては、場所はどうするかという議論になってしまうと、鯉沢側はだめだよとか、増穂側はだめだよといった話になってしまうので、そういったことを抜きに、今の現状の中で、小学校中学校のあり方についてはどうなのかということで、この基本方針を作り上げたつもりであります。

これから、この統合について皆さんに御意見を、ということになると思うのですが、この基本方針を、教育委員会、教育関係者は、今後の子どもたちの教育のために作り出したということの一つのベースとして、意見を聞いていただくという形をとっていただきたいとわたしは思います。

#### 【町長】

この基本方針を出して数字を読み解けというのは難しいので、一番大事なことは、子どもたちの数が減ってしまうんだということ、教育環境を維持できないということを出して、だからこそ、教育環境を維持していくにはどうしたらいいかということだと思えます。

全体的なことも大事ですが、ピンポイントで情報を出さなければ伝わらないこともあると思います。

子どもたちの数ということの情報を出して、問うていくということが大事だと思います。

書類を渡して、この中から判断してくださいというのはなかなか難しいと思います。

#### 【教育委員】

具体的な数字を挙げての情報の方がわかりやすいと思います。

ただ、一番心配なのは、12年前に町が合併をしたときに、反対か賛成かという議論がありました。

中学校の統合という子どもの教育環境の議論なのに、感情論を軸に反対、賛成ということになると意味が無いという意見もわたしの近くでは耳にします。

ですから、町長の今の方針をもって、感情論ではなく、あくまでも教育論だということから、話を進めてほしいと思います。

それでも、感情論的なことを述べてくる人もいると思うのですが、子どもたちの将来を考えた統合だということを町民の皆さんにも認識、理解していただきながら、統合論の発展につなげていただきたいと思います。

#### 【町長】

町の合併のとき足りなかったのは、正しい情報がしっかり出ていなかったということで、それで感情論になって、出所がわからないような情報

が出てしまったということです。

やはり、町当局がしっかり情報を出していけば、ああいう形にはならなかったと思います。

ですから、今回も一番大事なのは、正しい情報を、わかりやすいシンプルな情報を、先ず前提として出していくことが重要です。

#### 【教育委員】

富士川町の教育は非常に手厚くて、県内では上に位置しています。

保護者の方でもわかっている人がたくさんいます。

決して、貧しい教育をしているわけではなくて、ものすごく豊かな教育をしている、このことも、前提として、維持する方向で考えていただきたいと思います。

#### 【教育委員】

今、大人の目線で話し合っているんですが、大人の意見だけでなく、子どもの意見を聞くことも必要だと思います。

数年前に身延が統合して大きな学校になりました。

その時に、子どもの生の声を聞く機会がありました。

統合して遠くから通うのは大変だろうと思っていましたが、そういう意見ではなくて、いろんな子どもと交流ができるということが子どもにとっては新鮮なことのようで統合してよかったという意見でした。

すごく喜んでいて、そういう考えもあるんだと知らされてはっとしました。

ですから、やはり今の子どもは卒業してしまうから意見を聞いても思うかもしれませんが、現状で子どもがどういう考えを持っているかということをおたしたちは知る必要があるのではないかと思います。

子どもも一緒に作り上げた新しい中学校というのが理想だと思います。

#### 【町長】

わたしが心配してるのは、令和5年に統合するという期待を持っていた子どももいたのかもしれないということです。

そこを一度止めてしまって先送りする方針を出したときに、子どもたちにとってどうだったんだろうかということも思います。

やはり、子どもの気持ちを聞くということもすごく大事だと思います。

鰯沢の子どもたちが、令和5年に新しい中学に行くことを希望していたかどうかということを知りたいです。

#### 【教育委員】

もしかしたら、鰯沢の子どもも新しい友達を作りたい気持ちを持っている子が多いかもしれません。

大人とすれば、地域に学校がなくなるとか、予算のこととかが先にくるのですが、子どもは純粹に統合したらどうかということが考えられると思います。

広く意見を聞く中には、子どもの意見も入れてほしいと思います。

**【町長】**

お金をかけずに今の建物で教育環境を自ら選択できるということであれば、一つの方法として、垣根を無くして、増穂中学校、鰍沢中学校のどちらに通ってもいいということで、令和5年から可能にするという選択肢もあるかもしれません。

いろいろな事情もあって無理かもしれませんが、そういう選択肢も入れながら、アンケート調査をしてもいいのかなと思います。

**【教育長】**

通学区域ということが、規則によって定められています。それを変えていくということが必要になります。

**【教育長】**

まとめに入りますが、町長の意向では、もう少し現状を理解していただく機会、それから、子どもを含め、保護者等の意見を聞く機会をもう少し持っていきたいということの中で、開校時期については、令和5年4月という設定がされていますが、1年、もしくは状況によってはそれ以上ということになるかもしれませんが、最低でも1年は先送りにするということが、これまでの予定を変更させるということになりますが、その部分についてはよろしいでしょうか。

**【教育委員】**

はい

**【教育長】**

そうしますと、その方向性を見極める時期としまして、令和4年度、新年度の前半ぐらいを目途に意向を聞いていきたいという町長の御意見でありますので、意見聴取の方法等を検討しながら、できるだけ早く結論を出していく形にしたいと思います。

また、校舎のことについては、これまでも教育委員会の協議の中で、新しい校舎はできないのかという意見は出ています。

財政的なこともあり、どういう形がベストなのかということの中で、今に至っているということでもあります。

この部分については、意向だけでどうこうということにもなりませんので、実際にそれが可能なのかという検証を財政当局ともしていかなければ

なりません。

増穂商業高校のことが無くなったということではなく、それも含めて、検討をしていただくということによろしいでしょうか。

**【教育委員】**

はい

**【教育長】**

それでは、統合については、本日の総合教育会議の結論ということで保護者の皆さんにも報告をしていきます。

また、議会にも、こういった形で会議を開いて、方向性を出したということで報告をさせていただきます。

それから、検討委員会、専門部会については、統合がなくなったということではありませんので、基本的にはそのまま継続していく形で進めていきたいと思えます。

検討委員会には、町長にも出席していただいて、町長の意向を説明していただきたいと思えます。

**【教育委員】**

アンケートをずるとして、どこでどのように作成して、どんな形を取るのかということが、すごく大事だと思います。

聞き方によっては答えにくかったりということもありますので、そのことについてはいかがでしょうか。

**【町長】**

そのことについては、時間的なこともありますので、すぐに検討を始めたいと思えます。

すごく大事なことです。たたき台を作って様々な方に見ていただきながら、作成したいと考えています。

たたき台をこの総合教育会議の皆さんにも共有しながら、また、現場の声も聞きながら、皆さんが納得できるような内容のものを作りたいと考えています。

**【教育長】**

以上でこの協議は終了とします。

(2) その他

なし